

人生の最後まで自分らしく過ごすための終活講座

古い支度講演会

昨年度
大好評!

～認知症になる前の備え～

待望の「人生 100 年」時代到来。しかし、「自分もいつか認知症になるかもしれない…」という漠然とした不安。認知症になっても、よき理解者に囲まれた介護だったら？そして、どんな生活をしたいのか？今からその準備を始めてみませんか？
ご近所同士、ご家族、ご親戚など、お誘い合わせの上、是非ご参加ください！

・日時：令和 元年 10 月 6 日 (日) 13:30～15:30

・会場：中総合会館 4 階 コミュニティホール

・申し込み 不要 ・入場料 無料 ・定員 300 名

・講師：石黒 秀喜 氏 (古い支度クリエイター)
現 NPO 法人地域ケア政策ネットワーク事務局長代理
元厚生労働省介護保険指導室長、大臣官房参事官
著書「上手に老いるための自己点検ノート」



昨年の講演会の様子と参加者の声

このような話を聞くのは初めてだったけれど、自分の古い支度を始めようと思う。

老いや死を嫌なことを考えず、自分の最後をちゃんと考えよう…と思った。

今度は、友達を誘って来たい。

笑いを交えた、分かりやすい話が聞けて、満足でした！

自分が認知症になった時、認知症をよく分かっている人にそばにいてほしい。楽しい最後にしたい。

主催：舞鶴市福祉部高齢者支援課 電話 66-1012

後援：京都府・舞鶴医療センター認知症疾患医療センター